



11月9日(土)

迅速な災害対応を目指して 「伯耆町消防団非常呼集訓練」



▲音楽に包まれた楽しいひととき

伯

耆町消防団が、11月9日（土）に番原地内で非常呼集訓練を行いました。

この訓練は、消防団員が町内で発生した火災に迅速に対応できるように、毎年行われているもので、今回は番原地内で山林火災が発生したという想定のもと、消防団員約70人が参加しました。

午前7時、火災発生のサイレンが鳴ると同時に出動した消防車・小型ポンプ積載車が現場に到着し、各分団が連携してホースを延長、火点に向かって放水するといつ連の動作を的確かつ迅速に行っています。

冬は暖房器具など火気の使用が増え、火災が起きやすくなります。火の元をしっかりと確認して、火災のない伯耆町にしましょう。



▲火点に向かって放水する団員

12月1日(日)

人権意識を高め、 差別のない町を目指して 「第15回伯耆町人権・同和問題実践研究交流会」

人 権・同和問題の解消に向けた学習を進められたための実践研究交流会が、12月1日（日）鬼の館で開催されました。

交流会では、人権啓発標語入選者表彰や人権弁論、実践発表などが行われました。実践発表では、日南町の大柄瑞穂さんが、明治時代に差別により小学校に入学できなかった子どもたちが入学できるよう奔走した田中儀太郎と出井富五郎の偉業を紙芝居・DVDにした自治会の取組を紹介されました。

その後の講演では、熊本県在住の坂本義喜さんが、「いのちと仕事」という演題で講演されました。食肉加工の仕事に携わる中で感じた命の重さや仕事の意味について話され、子どもから大人まで多くの参加者が熱心に聞き入っていました。



▲人権啓発標語入選者の皆さん

12月7日(土)

森と人の望ましい かかわり方を考える 「森林シンポジウム」

日 本の林業の現状から、これからの山・森林へのかかわり方について考える第20回森林シンポジウムが、12月7日（土）に岸本公民館で開催されました。

当日は、にちなん中国山地林業アカデミーの小菅教育運営科長が、「森と人の共生を目指した森林へ」と題した講演の後、溝口中学校と岸本中学校の2年生の生徒4人が、林業施業体験で感じたことを発表しました。

また、今年は「丸太切り体験」が行われ、中学生が指導者の指導のもと、チェンソーを使つた丸太切りを体験しました。初めてチェンソーを使つた中学生は、「初めてで緊張しましたが、上手にできてよかったです」と話していました。



▲初めてのチェンソーで丸太切り体験

12月8日(日)

音楽で心ゆたかに 「第27回くろぼくコンサート開催」

くろぼくコンサートが12月8日（日）、鬼の館で開催されました。今回は開催5周年を記念して規模を拡大し鬼の館ホールで開催されました。

第1部は米子市を中心活動するJazzユニット「座・大黒堂」、第2部は山陰地区で活躍中のプラスアソシサンブル「フレーリッピエンフロインデ」の演奏があり、全30曲が演奏されました。来場者は、それぞれ特色のある演奏に耳を傾け、音楽に包まれた楽しいひとときを過ごしました。

くろぼくコンサートは、2ヶ月に1回、鬼の館ホールで開催されています。入場無料ですので、お気軽にお越しください。

野川の無堤防区間であった上細見の堤防整備工事の着工と、一日も早い完成を祈念して、12月8日（日）に、着工式・現場説明会が行われました。

着工式では、舞立昇治参議院議員を始め、福間裕隆鳥取県議会議員、

森安町長などが出席し、工事の安全成就を祈願し、鍼入れを行いました。その後、国土交通省日野川河川事務所の灘脇建設専門官の号令により、重機が掘削作業を開始し、上細見地区堤防工事がスタートしました。

伯耆町では、平成30年9月の台風24号で、日野川の水位が上昇し、避難指示を発令した経験があります。地域一体の安全性向上のためにも、一日も早い完成が期待されます。

日 野川の無堤防区間であった上細見の堤防整備工事の着工と、一日も早い完成を祈念して、12月8日（日）に、着工式・現場説明会が行われました。

上細見地区堤防工事 現地説明会・着工式

▲安全を祈願し鍼入れを行う関係者

12月8日(日)

上細見地区堤防工事 着工式・現場説明会



▲しめ縄飾り作りに挑戦する参加者

12月14日（土）月14日（土）、八郷小学校体育館で、小学生とその保護者によるしめ縄飾り教室が開催されました。この教室は、農家の減少や環境の変化とともに作り手が減少しているしめ縄飾りに親しんでもらおうと岸本公民館が企画しました。

当日は、番原の谷口さんと上細見の中西さんを講師に迎え、参加者11人がしめ縄飾り作りに挑戦。初めは慣れない手つきでわらを編んでいた参加者たちでしたが、講師の手ほどきを受けながら、しめ縄飾りを完成させていました。

参加者は「わらを編んだ経験がなかったので戸惑いましたが、何とか形になりました」「自宅玄関に飾りたいです」と話していました。